

地質ニュース

昭和 63 年 6 月

第 406 号 1 9 8 8

昭和63年度の地質調査所の経常研究.....	企 画 室	6
中央アンデスの高原に行く 国際シンポジウム『アンデスの火山活動』に参加して.....	村 岡 洋 文	14
ベッドフォームの話.....	池 原 研 正 木 下 泰	27
寿陽式鉄鉱床って何だ.....	岸 本 文 男	36
昭和62年度地質調査所の出版物.....	資 料 室	53
筑波研究学園都市の環境地質図新刊紹介.....	筑波研究学園都市の 地質の研究グループ	56
最近中国で発見された新鉱床 No. 8.....	地 質 相 談 所	13
海外室だより.....	海 外 室	60
雫石 shizukuishi.....	須 藤 茂 石 井 武 政	62

口 絵 中央アンデスの地質を見る岡 村 洋 文

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

中央アンデスにはプーナと呼ばれる標高 4,000m の高原が広がっており 写真はその典型的な風景を示している。 典型の第 1 点は平均年間降雨量が 110mm~310mm 程度というプーナの乾燥気候のため 植生が薄く ほとんど砂漠に近いことである。 第 2 点は流紋岩イグニブレイト (おそらく 北方の Cerro Panizos カルデラから噴出) の火砕流台地と安山岩溶岩の成層火山 (Cerro Granadas 標高 5,705m) との組合せがみられることである。 第 3 点は新生代後期の一般的な火山層序を反映して安山岩溶岩が流紋岩イグニブレイトの上位にあることである。 この風景の中には湿潤地域からやってきた地熱地質屋に対する 一つの警告が含まれている。 火砕流台地や成層火山はさも若そうにみえ その供給源は熱源として大いに有望のようにみえる。 ところが K-Ar 年代測定によれば 下位のイグニブレイトが 8.5 ± 0.2 ないし 8.9 ± 0.2 Ma 上位のグラナダス火山の溶岩が 5.0 ± 0.2 Ma と報告されている。 乾燥地域では 湿潤地域とは逆に 熱源の寿命よりも火山地形の寿命の方が永いらしいのである (1987年 9月12日撮影 村岡洋文)。

7月号予定目次

韓国の金属鉱床の近況について
化学化石 “バイオマーカー” を測る
佐渡西三川の砂金の歴史地理
パソコン用地学かな漢字対応表作成とワープロ辞書としての利用について
光ディスク画像とパソコンを用いたボーリングコア検索システム